

タイトル	地域の自然と人々の協力で育つ小学生のクロススキー大会
名称（学校・地域）	飯水小学校スキー大会運営委員会
日時・場所等	毎年2月・長峰運動公園
ホームページ	

地域の自然と人々の協力で育つ小学生のクロススキー大会

1 50年を越えて引き継がれてきた大会と込められた願い

令和4年度で53回を数える飯水小学校スキー大会は、飯山市と栄村の小学校が、冬季における体育の授業や課外のクラブで取り組んでいるクロススキーの大会です。主催は飯水校長会、後援は飯水地教委連絡協議会と飯水スポーツ協会及び飯水PTA連合会、飯山市及び栄村スキークラブ、飯水教育会で、地域を挙げて開催されてきました。約50年前の児童数が多かった時代では、児童の代表選手が競技に参加していた学校もありましたが、児童数の減少により近年は5年生及び6年生全員が参加する大会となっています。

その中で、一貫して続けてきたねらいは、競技を通しての技術力の向上もありますが、それ以上に大切なことがあります。それは、子どもたちが、雪国ならではの冬のスポーツ・スキーの楽しさを味わいながら、自分自身の成長の糧にすることです。その背景には、雪国のふるさと飯水に親しみをもってほしいとの地域の願いがあります。また、大会のもう一つの大きなねらいは、家庭や地域の方々の声援を受けて長い距離を滑りきる喜びを知ることや、その喜びを共に味わえる仲間づくりをすることにあります。

2 子どもたちやスタッフの声

令和5年度に参加した子どもの一人は、「今まで（新型コロナウイルス感染症対策や雪不足で）できなくて、初めて参加した大会だった。ゴールまで滑ることができるか心配だったけど、みんなに声援を送ってもらって私でも滑り切ることができて楽しかった」と家族に話したそうです。

競技場整備に携わる大会スタッフは、「スキーの普及と競技力の向上を願っています。学校行事としてクロススキーに郡市を挙げて取り組む地域は少ないと聞かにつけ、大会運営への関係者の努力に敬意を表します。私たちは毎日大会に近い状態にコースを整備して、子どもたちが現地練習をできるようにしています。その中で、県や全国につながる競技大会ではない、飯水小学校スキー大会の意義を改めて感じています」と振り返っています。

3 今後に向けて

児童数の減少から学校統合の動きが進んでいます。飯山市では令和7年度に北部4小学校が統合し、令和12年度に南部の3小学校も統合する予定です。飯水の子どもたちがクロススキーで育つ環境をどう継続していくかが課題ですが、関係者と知恵を寄せ合ってよりよい大会にしていきたいです。

